日本共産党
静岡市議会議員団
ニュース
2014—No.4

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室　TEL 054-254-2111
(内)4541
FAX 054-272-4695
アドレス　http://www.jcpss.jp/
メール　yksf5@jcpss.jp

6月定例市議会

6月定例市議会はじまる

全ての市立保育所・幼稚園を廃止、認定こども園条例上程

6月定例市議会が12日から7月3日までの日程ではじまりました。

市は、来年4月から全ての市立保育所・幼稚園を廃止し、認定こども園に移行するための条例改正案、バイク・軽自動車などの市税を大幅増税する条例改正案などを提案。党市議団は、これらにたいして、市民や関係者の要望にもとづき徹底して論戦に挑み、市政課題について5人全員が総括質問をする予定です。

◇◆◇◆◇◆◇◆

来年からの市立保育所・幼稚園の廃止、認定こども園への移行については、「制度もよくわからないまま来年から移行するのは強引すぎる」「市立保育所をなくさないで」など保護者や関係者などから強い懸念や不安の声があがっています。

根幹の制度改定であるにもかかわらず、その周知や市民的な論議がほとんどないまま、来年から全国に先駆けて強行することは大問題です。市は、「保育と教育のいいところを一体に進める」といっていますが、多くの専門家からも様々な疑問や問題点が指摘されています。

その他、約15億円の補正予算案では、大雪被害への救済対策や福祉施設・消防施設の整備があるものの、約11億円が道路整備となっています。

5人の議員の総括質問テーマは下記のとおりです。

6月定例会での本会議質問

本会議での質問は6月20日から24日の日程で行われます。詳しくはお問い合わせください。

内田 りゅうすけ議員
6月20日(金)
- 静岡市病院独立法人化について
- 清水病院について
- 三保について

鈴木せつ子議員
6月23日(月)
- 子ども・子育て支援制度について
  幼保連携型認定こども園について

山本 明久議員
6月23日(月)
- 静岡市第三次総合計画について
- 浜岡原発について

西谷博子議員
6月24日(火)
- 子ども・子育て支援制度について

寺尾 昭議員
6月24日(火)
- 介護保険について
- 学童保育新制度について

6月定例会会議日程

会期　6/12～7/3(22日間)
会場　静岡庁舎本館

〈本会議〉
○本会議
6/12(木)午前10時より
6/20(金)午前10時より
6/23(月)午前10時より
6/24(火)午前10時より
○本会議(最終)
7/3(木)午前10時より

6/26(木)午前10時より
〈総務委員会〉
〈上下水道教育委員会〉
〈生活文化環境委員会〉
6/28(金)午前10時より
〈厚生委員会〉
〈経済消防委員会〉
〈都市建設委員会〉

静岡市病院独法移行で公的責任どうなる
−市民の会スタート集会−

市立静岡病院の経営形態を地方独立法人(独法)へ移行のため、本年9月市議会でその基本となる定款が決められようとしている状況下、6月7日「独法を考える市民の会」が発足しました。集会で、大阪府堺市立病院の池尾氏は、不採算部門や救急医療など公立病院だからできると講演しました。参加者からは医療水準や職員の労働条件は確保されるのか、公的責任は果たされるのか、など心配の声があがりました。

高齢者用肺炎球菌ワクチン公費助成を

厚労省は、今年の10月から、高齢者用肺炎球菌と、水痘ワクチンの定期接種化にむけ、検討しています。各自治体では高齢者用肺炎球菌ワクチンは1回8000円から1万円かかるため、市で独自助成を実施していますが、本市は未実施です。

多くの市民の要望であり、健康友の会が5月、市に対し、10月からの公費助成について、要望をおこないました。

その結果、分かった内容は、①10月1日より公費助成したい、②対象は65歳以上100歳まで5年刻みに1回接種、③自己負担はワクチン代、④対象者には、受診証を送り、それを医療機関は対象者として確認する。

会からは、希望する年から接種を開始してほしい、自己負担は無くしてほしい等重ねて要請しました。党議員団は、皆さんの声をもとに今後も論戦します。